

令和2年1月7日

## サイバーセキュリティ関連情報（1月号）

鳥取県警察本部サイバー犯罪対策課

### ○ パソコン、ハードディスクを処分する時の注意点

今年1月14日のWindows7サポート終了を機に、古いパソコンを処分して、新しいパソコンに買い換えを検討している方も多と思います。

しかし、昨年12月、神奈川県行政文書を保存したハードディスクがインターネットオークションで売られ、情報流出した事件が問題となっているように、パソコンを処分する際、個人情報が第三者の手に渡ってしまうリスクを回避することが重要となります。

パソコンの中には、アドレス帳や写真、文書だけでなく、場合によっては、IDやパスワード等のアカウント情報やクレジットカード情報等、様々なデータが記録されています。データを消去する場合、対象ファイルをゴミ箱に入れて「ゴミ箱を空にする」を実行しただけでは不十分です。また、初期化したり、工場出荷状態に戻したりしても、データ復元ソフトを使えば、表面上は見えなくなっているデータを容易に復元できてしまいます。

パソコンやハードディスクを処分する際は、必要なデータを必ず新しい機器等に保存した上で、データ消去ソフトを使用して、元のデータを復元できない状態にするか、専門業者に依頼して物理的に破壊されたことを確実に確認しましょう。

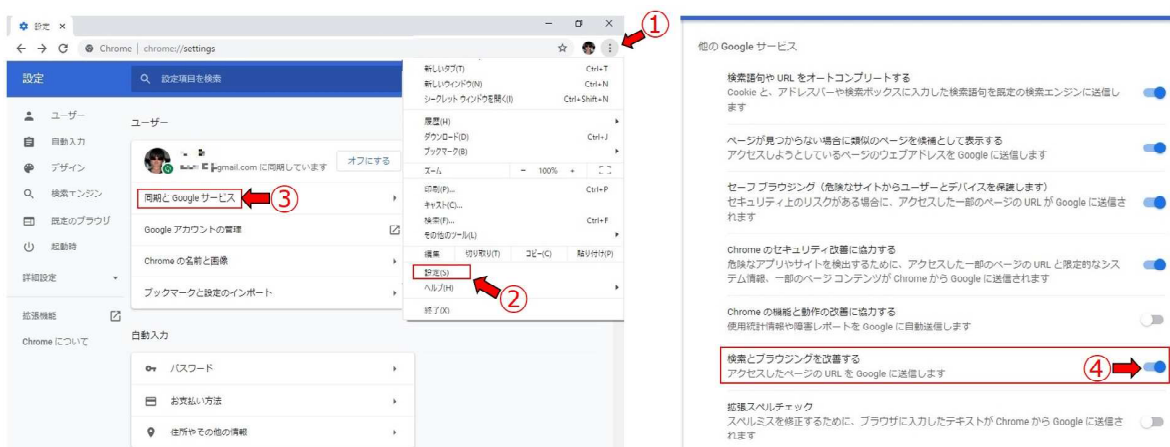
詳細は、パソコン、ハードディスクの各メーカーのサポートページを参照しましょう。



### ○ 「Chrome」にフィッシングのリアルタイム警告機能

Googleは、米国時間2019年12月10日、フィッシングのリンクかどうかをリアルタイムにチェックする機能を「Chrome」ブラウザに追加したと発表しました。

このフィッシング保護機能の強化により、訪問したURLを、ローカルに保存された30分毎に更新されるリストではなく、Googleのブロックリストとリアルタイムで照合するようになりました。



①をクリック ②の設定を選択 ③の同期とGoogleサービスを選択 ④の検索とブラウジングを改善するをON（レバーを右）

ウイルス対策ソフトと併用して、「Chrome」のフィッシング対策をお願いします。

参考 フィッシング対策協議会 [https://www.antiphishing.jp/news/entry/20191212\\_cnet\\_japan.html](https://www.antiphishing.jp/news/entry/20191212_cnet_japan.html)

ニュース元 CNET JAPAN <https://japan.cnet.com/article/35146670/>

